

【日本語表現力強化コース】

～ 一読で伝わる文章力を身につける ～

説明会、
実際の授業も
完全リモート

私たちが日常目にする文章を2回以上読み返すことはほぼありません。ネットニュースや新聞、PRのコピー、仕事用の書類はもちろん、映画・海外ドラマの字幕、小説まで、そのほとんどが一度目を通して終わりです。文章の作成者の側にとっては、一度しか読んでくれない"読者"にどれだけ高い質の文章を"提供"するかが問われ、それが社会・業界・社内での評価を決める大きな物差しとなっています。

JVTAは開校以来、日本語の表現力を重視し、プロの映像翻訳者を育成するための授業や大手企業の社外研修などを通じて、「一読で伝わる文章力」の大切さやそのための方法をお教えしてきました。

日本語表現力強化コースは、現代のプロの表現者に最も必要な"一読で適切に伝える"ための考え方、技術を身につけていただくための内容となっています。「いままでの文章よりも読み手が早く理解できる、内容を迷わせない文章が書けるようになる」というゴールを目指した講座です。文頭・文末の処理、取捨選択の方法、"ねじれ"のない書き方など、スピーディーに視聴者・読者に伝えるための表現方法を徹底的に学んでいきます。

JVTAで学んだ経験のある映像翻訳者、ディスクリイパー、CCライターを目指している方はもとより、企業広報に携わる方、PRの世界で活躍したいと考えている方、プロの表現者としてのスキルをアップさせたいという方にも最適な講座です。

ご興味をお持ちの方は、ぜひ無料説明会にご参加ください。下記フォームよりご希望のお日にちをご選択いただけます。

概 要

●曜日・時間: 毎週日曜日…10:30～12:50

●受講期間: 全4回…9/17(日)、9/24(日)、10/1(日)、10/8(日)

●無料説明会: 8/9(水)、8/23(水)、9/6(水)、9/13(水) 19:00～20:00

※無料説明会へのお申し込みはWEBページから。<https://www.jvta.net/tyo/japanese-writing-special/>

※上記の説明会以外にも個別面談に応じています。いつでもお気軽にどうぞ。

●選択の目安:

1. JVTAで学んだ経験のある映像翻訳者、ディスクリイパー、CCライターを目指している方
2. 企業広報に携わる方、PRの世界で活躍したいと考えている方
3. プロの表現者としてのスキルをアップさせたいという方

●受講料: 39,600円(税込)

●講師: 新楽直樹(JVTA代表)

丸山雄一郎(日本語の表現力強化コース主任講師)

お申し込み方法

受講申込書(PDF)にご入力の上、所定の当校サイトへアップロード。



<お問い合わせ先>

日本映像翻訳アカデミー Tel. 03-3517-5002  seminar@jvta.net

日本語表現力強化コース カリキュラム

～ 一読で伝わる文章力を身につける ～

全4回 毎週日曜 10:30～12:50

1	9/17 (日)	新聞記事から学ぶ、品詞の使い方・選び方 ※ 前課題あり 丸山 講師 前課題は「ニュース解説(新聞)記事を書く」。新聞記事などを題材に、スピード感のある文章に必要な「品詞の使い方」や「情報の取捨選択法」などを身につける。 ★提出期限 9/15 (金) 13:00まで
2	9/24 (日)	一読で伝わる文章で<読者の共感>を得る ※ 前課題あり 新楽 講師 前課題は「全国発売の情報誌で話題の映画の紹介記事を書く」。第1講で学んだポイントが自身の原稿に反映しているかを確認する。 ★提出期限 9/22 (金) 13:00まで
3	10/1 (日)	メディア表現に不可欠な構成力・流れを作る力 ※ 前課題あり 丸山 講師 前課題は「海外ドキュメンタリー番組の字幕を作る(全文訳あり。翻訳作業は不要)」。人気が再燃しているドキュメンタリーなどを題材に、単語の選び方や構成法を学ぶ。 ★提出期限 9/29 (金) 13:00まで
4	10/8 (日)	一文一情報・文末表現・リズム感 ※ 前課題あり 新楽 講師 前課題は「300字でショップまたはグッズの紹介記事を書く」。良質なメディア表現の前提は「読者が目を通すのは一度きり。それでもしっかり伝える」。一読で理解できる文章の特徴を明らかにする。 ★提出期限 10/6 (金) 13:00まで

※講師および授業内容などは予告なしに変更されることがあります。

※始業後、講師はクラスの状況をみて教材等を調整・変更することがあります。



講師: 新楽 直樹 / 日本映像翻訳アカデミー (本校・LA校) 代表

雑誌編集、メディア・プランニング会社経営を経て、1996年に日本映像翻訳アカデミーを設立。1000名以上のプロを育成し、「映像翻訳」という職能の確立・定義を行う。編・著書に、「映像翻訳者になろう」、「翻訳者になるための練習問題100」、「ライターになるための練習問題100」、「字幕翻訳とは何か 1枚の字幕に込められた技能と理論」などがある。



講師: 丸山 雄一郎

学生時代から本校代表である新楽直樹に師事し、ライターとしてデビュー。小学館「DIME」「週刊ポスト」「週刊ビッグコミックスピリッツ」などでライター、編集として活動後、講談社「週刊現代」「FRIDAY」「セオリー」などで執筆。現在は、映像翻訳本科のほか企業の社内研修でも講師を務める。

完全リモート受講

日本映像翻訳アカデミーでは、新型コロナウイルスの感染リスク低減が不透明である情勢を踏まえ、東京校ならびにロサンゼルス校で開講する全てのコースを「リアルタイム型リモート(オンライン)方式」で行うものとします。